

2018年3月期決算 カンファレンスコール資料



<2018年6月5日 訂正版>

2018年5月2日
日本ライフライン株式会社

本日の内容

1. 2018年3月期 決算概要
2. 2019年3月期 業績予想



常務取締役管理本部長
高橋 省悟

JLL Japan Lifeline

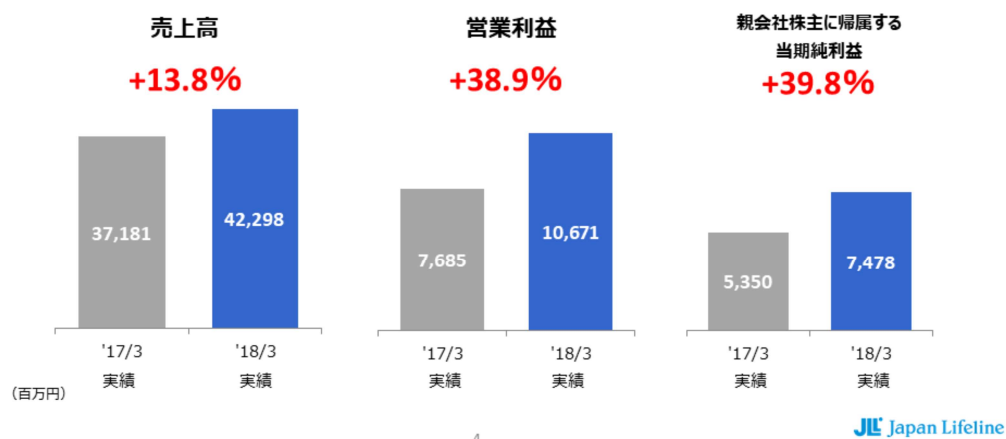
本日は、2018年3月期の決算概要および、2019年3月期の業績予想についてご説明いたします。

1. 2018年3月期 決算概要

まず、2018年3月期の決算概要についてご説明いたします。

2018年3月期 連結業績ハイライト

- ・ 自社製品・仕入商品ともに伸長し、2桁増収
- ・ 子会社合併に伴う未実現利益調整による売上総利益のプラス効果
- ・ 上記2要因により、販管費増加を吸収し大幅増益



2018年3月期決算のハイライトとしては、自社製品・仕入商品ともに伸長し、2桁増収を達成いたしました。

また、昨年4月1付けで子会社であるJUNKEN MEDICAL社を吸収合併したことに伴い、未実現利益の調整による売上総利益のプラス効果が約11億70百万円ありました。なお、これは2018年3月期のみの一時的なものとなります。

この二つの要因により、販管費増を吸収して大幅増益を達成いたしました。

2018年3月期 連結業績

'18/3期は子会社合併に伴う未実現利益の調整により、売上総利益率が改善

(百万円)	2017/3期 実績	2018/3期 修正計画 (*18/1/31発表)	2018/3期 実績	前期比	計画比
売 上 高	37,181	42,466	42,298	+13.8%	△0.4%
売 上 総 利 益	21,998	26,552	26,576	+20.8%	+0.1%
売上総利益率	59.2%	62.5%	62.8%	+3.6pt	+0.3pt
営 業 利 益	7,685	10,664	10,671	+38.9%	+0.1%
営業利益率	20.7%	25.1%	25.2%	+4.5pt	+0.1pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	5,350	7,480	7,478	+39.8%	0.0%
当期純利益率	14.4%	17.6%	17.7%	+3.3pt	+0.1pt

5

JLL Japan Lifeline

対前期および修正計画との比較です。

2018年3月期は売上総利益率が62.8%となりました。収益性の高い自社製品の伸長などもありましたが、2017年3月期に比べ、大きな差異要因となったのは前述の未実現利益の調整です。営業利益の水準も25.2%となりました。

本年1月31日に開示した修正計画に対して、売上は一部新商品の上市遅れ等もあり、若干の未達となりましたが、売上総利益、営業利益、当期純利益についてはほぼ計画通りとなりました。

2018年3月期実績 販売ハイライト

自社製品が業績を牽引

- ・心房細動（AF）関連商品、人工血管/オープンスtentグラフト

仕入商品も堅調に推移、新商品の遅れをカバー

- ・心臓ペースメーカ、腹部用stentグラフトが伸長

新商品を導入

- ・薬剤溶出型冠動脈stent「Orsiro」 3月販売開始
- ・大腸stent「JENTLLY」 昨年6月より限定販売開始

6

JLL Japan Lifeline

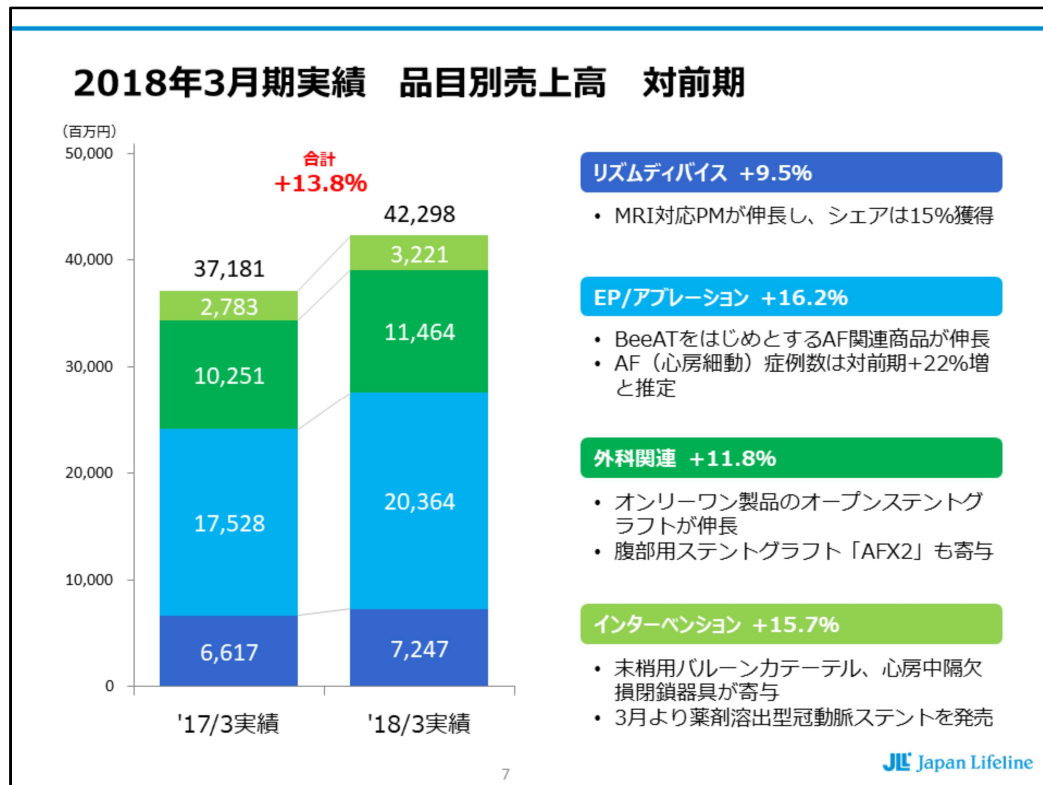
続いて販売におけるハイライトです。

自社製品におきましては、EP/アブレーションで心房細動の症例数が増加しており、引き続きBEEATなどのオンリーワン製品を中心に関連製品が伸長いたしました。さらに外科関連では同じくオンリーワン製品のオープンスtentグラフトも好調に推移いたしました。

また、仕入商品におきましても、リードを含めたMRI対応商品をフルラインナップで揃えることができた心臓ペースメーカが好調であったことや、改良品を導入した腹部用stentグラフトも寄与いたしました。

これにより、当初2018年3月期の上市予定であったものの、2019年3月期に延期となった内視鏡アブレーションシステム「HeartLight」、スーチャレス生体弁「PERCEVAL」の影響をカバーいたしました。

新商品としては、大型新商品であるDES（薬剤溶出型冠動脈stent）「Orsiro」を本年3月に発売いたしました。
また、当社としては新領域への挑戦となる大腸stent「JENTLLY」の販売を昨年6月より開始し、消化器領域への参入を果たしております。なお、同製品は本年1月より本格的に販売しております。



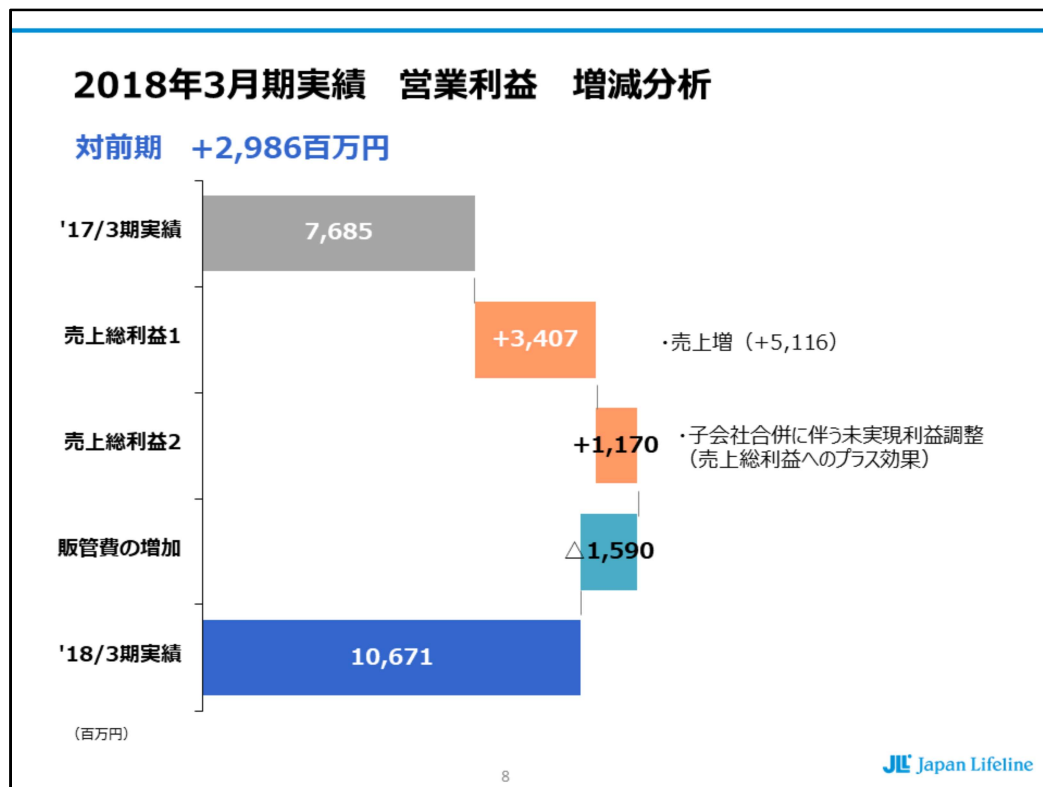
品目別売上高の前期比較です。

リズムデバイスでは、MRI対応ペースメーカーが伸長し、市場シェア15%を獲得し、対前期9.5%増となりました。

EP/アブレーションでは、AF（心房細動）の症例数が対前期約22%増と推定しており、オンリーワン製品であるBeeATをはじめとする関連製品が伸長した結果、対前期16.2%増となりました。

外科関連では、自社製品でありオンリーワン製品でもあるオープンスtentグラフト「FROZENIX」の他、腹部用stentグラフト「AFX2」の販売数量が増加したことから、対前期11.8%増となりました。

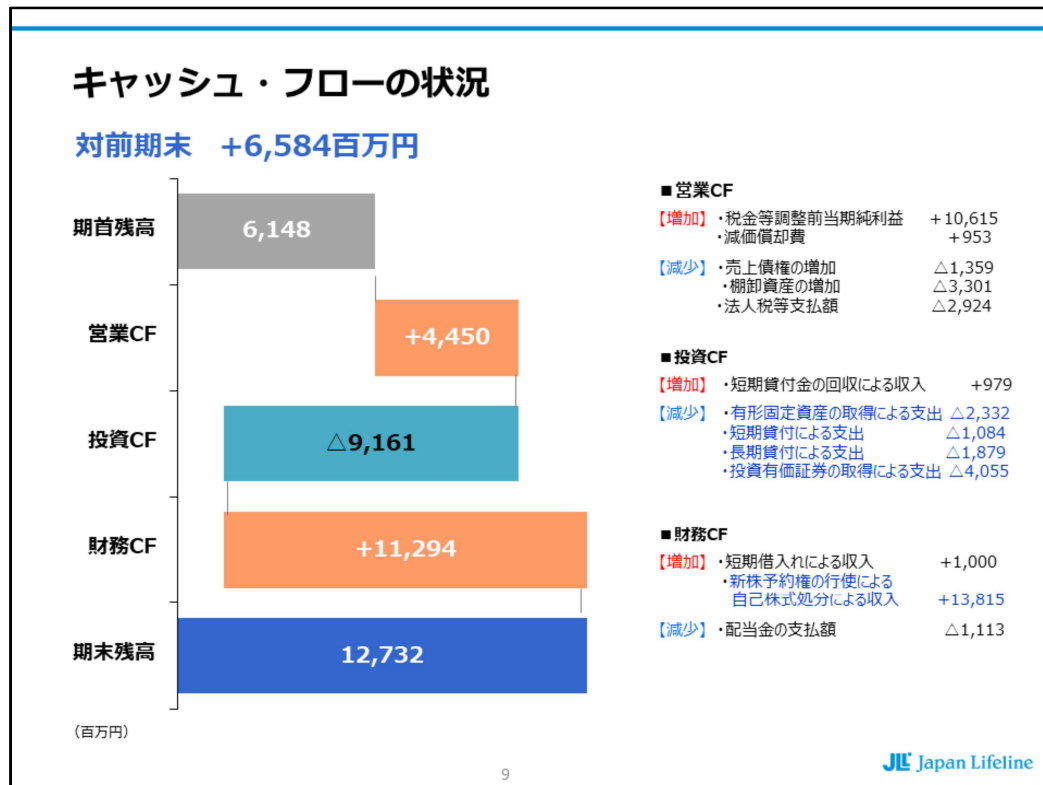
インターベンションでは、末梢用バルーンカテーテルや心房中隔欠損閉鎖器具が寄与したほか、薬剤溶出型冠動脈stent「Orsiro」を3月より発売したことにより、1ヶ月ではありましたが売上増加に寄与いたしました。



2018年3月期の営業利益の増減分析です。

売上増加による売上総利益の増加に加えて、当期のみのプラス要因である子会社合併に伴う未実現利益の調整により、売上総利益のプラス効果が11億70百万円ありました。

その一方で、販管費の増加が15億90百万円ありましたが、先ほどの売上総利益の増加により吸収し、営業利益としては対前期38.9%増である29億86百万円の増益となりました。



キャッシュフローの状況です。

営業CFの主な増加要因としては、税金等調整前当期純利益10,615百万円、減価償却費953百万円があった一方、減少要因としては、売上債権の増加1,359百万円、棚卸資産の増加3,301百万円がありました。

特に棚卸資産の増加については、3月に発売した薬剤溶出型冠動脈ステントの初期在庫として1,860百万円が新たに加わったこともあり、増加しております。

投資CFの主な増加要因としては、短期貸付金の回収による収入979百万円があった一方、減少要因としては、リサーチセンター新棟の建設等を中心とする、有形固定資産の取得による支出2,332百万円、また取引先メーカーに対する貸付として、短期貸付による支出1,084百万円、長期貸付による支出が1,879百万円がありました。さらに、新株予約権を発行し、その行使により1月に調達した資金について、支出時期の到来まで安全性の高い資産として運用するため、投資有価証券の取得による支出が4,055百万円ありました。

財務CFの主な増加要因としては、短期借入れによる収入1,000百万円のほか、新株予約権の行使による自己株式処分による収入+13,815百万円がありました。減少要因としては配当金の支払額1,113百万円です。

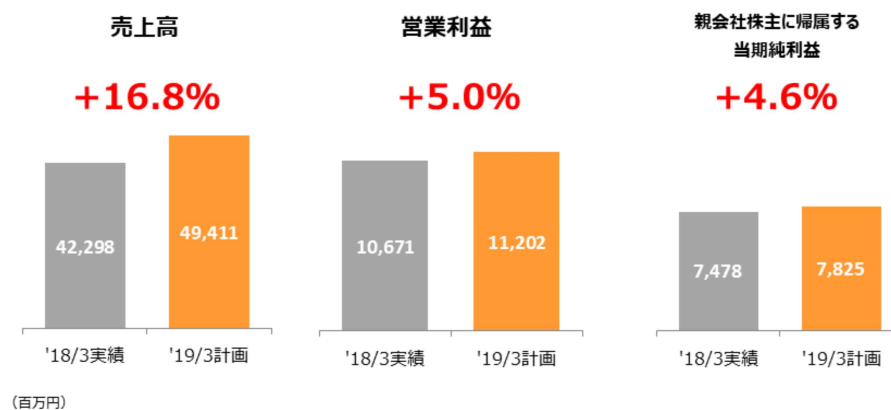
以上により、キャッシュは対前期末に比べ6,584百万円の増加となりました。

2. 2019年3月期 業績予想

続きまして2019年3月期の業績予想についてご説明いたします。

2019年3月期 連結業績予想ハイライト

- ・ 自社製品の伸長、大型新商品の寄与により大幅増収見込み
- ・ 売上総利益率は前期に比べ低下（未実現利益調整なし、公定価格改定）
- ・ パイプライン確保のための販管費増により、増益は小幅となる見通し



11

JLE Japan Lifeline

2019年3月期業績予想のハイライトです。

売上高については、自社製品の成長に加え、大型新商品の導入によって16.8%の大幅増収を見込んでおります。
このうち、本年3月に導入した薬剤溶出型冠動脈ステントで約50億円程度を見込んでおります。

また、本年4月には保険償還価格の引き下げが行われており、売上高に対する影響でおよそ5.8%の影響がありますが、この影響を吸収し、増収となる見通しです。

営業利益については、売上総利益率が低下することに加え、変動費には属さない比較的大きな案件が重なっていることから販管費の増加を見込んでおり、営業利益の増益率は5.0%と前期に比べて小幅となる見通しです。

さらに当期純利益についても4.6%増益を見込んでおります。

2019年3月期 連結業績予想

・'19/3期は以下の要因により、長期的な成長に向けた準備段階

①保険償還価格引下げ、②未実現利益調整効果なし、③販管費の増加

(百万円)	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 計画	前期比
売上高	37,181	42,298	49,411	+16.8%
売上総利益	21,998	26,576	29,455	+10.8%
売上総利益率	59.2%	62.8%	59.6%	△3.2pt
営業利益	7,685	10,671	11,202	+5.0%
営業利益率	20.7%	25.2%	22.7%	△2.5pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,350	7,478	7,825	+4.6%
当期純利益率	14.4%	17.7%	15.8%	△1.8pt

12

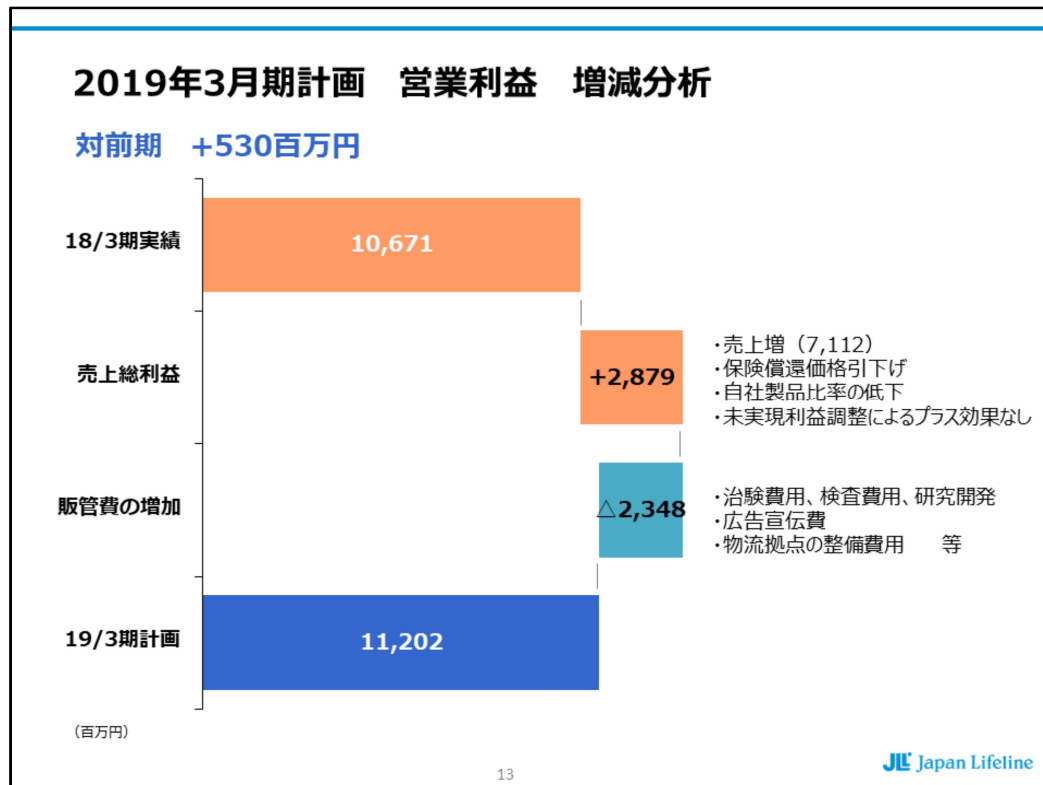
JLL Japan Lifeline

2017年3月期実績、2018年3月期実績と2019年3月期計画との比較です。

2019年3月期は2018年3月期に対し、大幅な増収見通しであるものの、売上総利益については、未実現利益の調整によるプラス効果1,170百万円がないことや、保険償還価格の引き下げ、自社製品比率の低下などにより、10.8%増加するものの、売上総利益率としては、62.8%から59.6%へ低下する見通しです。

営業利益については、大型案件が複数予定されていることによる販管費の増加により、営業利益率は25.2%から22.7%へ低下する見通しです。

従って2019年3月期は前期に比べ、利益が出にくい構造であり、増益率としてはこの数年に比べ低い水準にはありますが、当社としては中期的な成長トレンドに変化はないものと捉えております。



2019年3月期計画の営業利益の増減分析です。

売上総利益については、保険償還価格の引き下げ、自社製品比率の低下に加えて、未実現利益の調整によるプラス効果がないことなどのマイナス要因がございますが、売上増(7,112百万円)によってこれをカバーし、2018年3月期比で2,879百万円の増加を見込んでおります。

その一方で、販管費については、パイプライン確保のための治験費用、検査費用および開発費用のほか、新商品のプロモーションによる広告宣伝費の増加、また関西物流拠点の整備等を見込んでいることから、2,348百万円の増加を見込んでおり、営業利益としては対前期5.0%増である530百万円の増益を見込んでおります。

2019年3月期計画 販売ハイライト

大型新商品の寄与を見込む

- ・薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」の市場シェア15%を目指す
- ・内視鏡アブレーションシステム「HeartLight」 7月発売予定
- ・スーチャレス生体弁「PERCEVAL」 下期発売予定

自社製品も好調な推移を見込む

- ・心房細動関連製品の伸長（症例数は対前期18%を想定）
- ・オープンステントグラフトの欧州上市

リズムデバイスは減収見通し

- ・遠隔モニタリング装置の供給力不足によるペースメーカー販売数の減少

14

JLL Japan Lifeline

続いて販売におけるハイライトです。

大型新商品として、3つの商品の寄与を見込んでおります。

インターベンションでは、この3月より販売を開始した、薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」で市場シェア15%を目指しております。

また、EP/アブレーションでは、内視鏡アブレーションシステム「HeartLight」の7月発売を予定しております。

さらに、外科関連では、スーチャレス生体弁「PERCEVAL」の下期の発売を予定しております。

既存商品ではEP/アブレーションにおいて心房細動治療が引き続き増加を見込んでおり、2019年3月期は対前期18%増を想定しております。

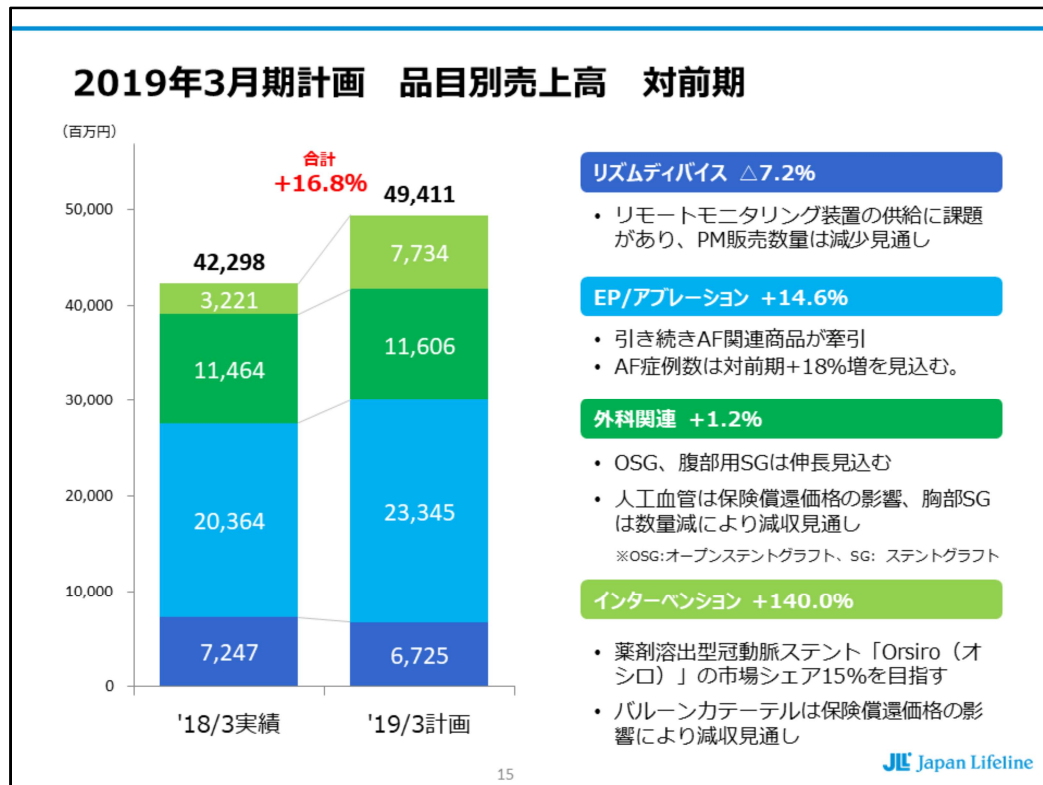
さらに自社製品の海外展開として取り組んでおりますオープンステントグラフトの欧州展開も上期に予定しております。

なお、オープンステントグラフトは本年2月に台湾向けの販売を開始しており、4月に初症例が行われております。

その一方リズムデバイスにつきましては、遠隔診療に対する診療報酬の加算を受け、遠隔モニタリング装置の需要が増しているものの、供給面での課題があることから、心臓ペースメーカーの販売数量は減少する見通しであります。

なお、昨年11月の2Q決算説明会にて、2019年3月期の売上高見通しとして、500億

円を公表しておりますが、下方修正の要因としては、当時はこのリズムデバイスの減少を想定していなかったことが挙げられます。



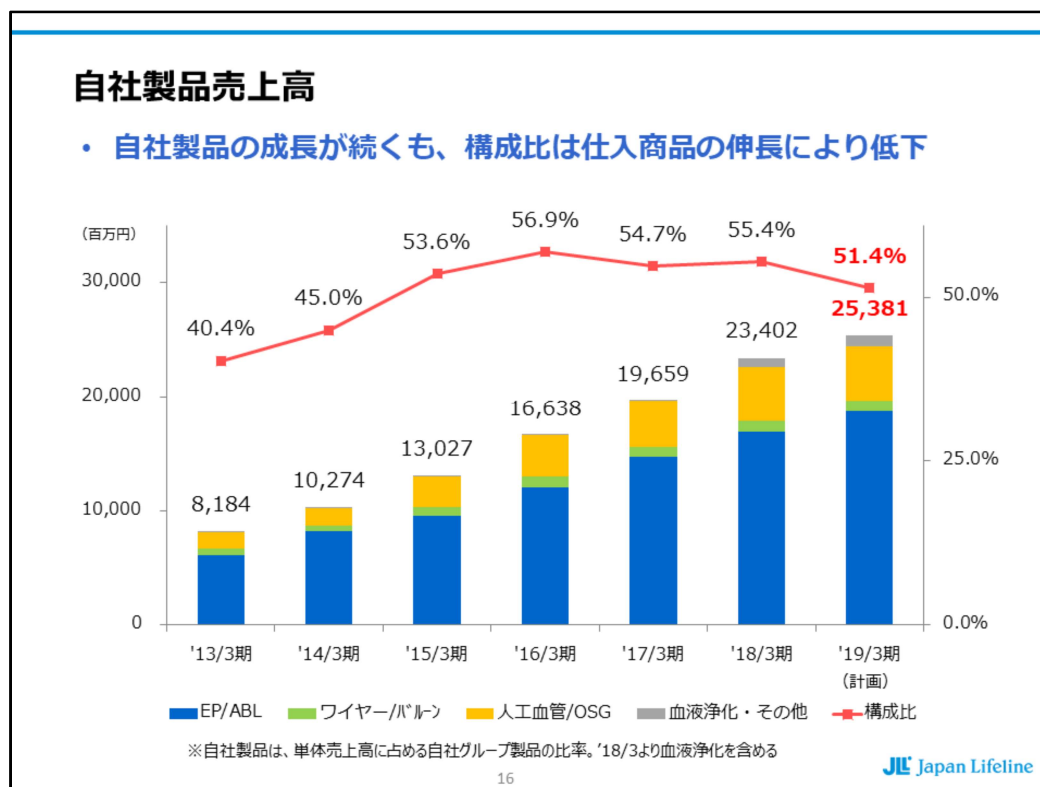
品目別売上高の前期比較です。

リズムデバイスでは、先ほどご説明した遠隔モニタリング装置の供給面での課題があることから、心臓ペースメーカーの販売数量が減少する見通しであり、リズムデバイス全体では対前期7.2%減を見込んでおります。

EP/アブレーションでは、AF（心房細動）の症例数が、対前期18%増と予測しており、オンリーワン製品であるBeeATをはじめとする関連製品の伸長が期待されることや、内視鏡アブレーションシステム「HeartLight」の7月上市を予定しております。EP/アブレーション全体では対前期14.6%増を見込んでおります。

外科関連では、オープンステントグラフト「FROZENIX」、腹部用ステントグラフト「AFX2」の販売数量の増加を見込んでおります。また下期にはスーチャレス生体弁「PERCEVAL」の上市を予定しております。その一方で、人工血管では保険償還価格引下げの影響を受けること、また胸部用ステントグラフトにつきましては、競合の影響による販売数量の減少が見込まれることから、外科関連全体としては対前期1.2%増となる見通しです。

インターベンションでは、薬剤溶出型冠動脈ステントで市場シェア15%を目指す「Orsiro」の寄与を見込む一方、バルーンカテーテルやガイドワイヤーは保険償還価格引き下げの影響から売上高は減少する見通しであり、全体としては対前期140.0%増を見込んでおります。



自社製品の売上推移です。

2018年3月期はEP/ABL、外科関連が牽引し、自社グループ製品の構成比は55.4%となりました。

2019年3月期は薬剤溶出型冠動脈ステントの売上増加を見込んでいることから、同構成比は51.4%に低下する見通しです。

設備投資/減価償却費/研究開発費/従業員数

- ・ 2018/4よりリサーチセンター新棟が稼働を開始
- ・ マレーシア工場は2020/3期の稼働を目指す

(百万円)		2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期 (計画)
設備投資額		331	1,752	905	3,630	1,786
減価償却費		770	717	753	953	1,334
研究開発費		794	933	1,051	1,121	1,472
期末従業員数	連結	759	795	829	906	989
(名)	単体	570	610	661	814	907

続いて、設備投資、減価償却費、研究開発費、従業員数です。

2019年3月期の計画としては、設備投資1,786百万円、減価償却費1,334百万円、研究開発費1,472百万円、期末従業員数989名を見込んでおります。

減価償却費については、リサーチセンター新棟の償却が含まれております。

現況と課題・中期経営計画説明会

昨年5月発表の中期経営計画をローリングにより更新

内容：販売の現況と課題・中期経営計画のご説明

日時：5/29（火） 11:00-12:00

場所：日経茅場町カンファレンスルーム

東京都中央区日本橋茅場町2-6-1 日経茅場町別館B1 F

18

 JLL Japan Lifeline

以上で、本日の決算概要および業績予想のご説明は終了させていただきます。

なお、5/29に予定しております説明会において、社長の鈴木より、販売面における現況と課題、昨年5月に開示した中期経営計画の更新について発表させて頂く予定です。

本更新では、直近の販売動向をはじめ、新商品の独占販売契約や開発の状況、また治験及び薬事承認のスケジュールを反映し、新たに2023年3月期までの計画を発表いたしますので、是非ご参加頂きますようお願いいたします。

本日はお忙しいなかご参加頂き、ありがとうございました。

＜資料＞

連結売上高 品目別（実績 対前期）

(百万円)	2017/3月期		2018/3月期				備考
	通期 実績		通期 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	5,674	15.3%	6,463	15.3%	789	13.9%	
ICD関連	724	1.9%	584	1.4%	△140	△19.4%	
その他	218	0.6%	200	0.5%	△18	△8.4%	AED含む
リズムデバイス 計	6,617	17.8%	7,247	17.1%	630	9.5%	
EPカテーテル	13,160	35.4%	15,354	36.3%	2,193	16.7%	自社製品 心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル	1,258	3.4%	1,161	2.7%	△97	△7.7%	自社製品
その他	3,109	8.4%	3,848	9.1%	739	23.8%	高周波心房中隔穿刺針含む 自社製品含む
EP/ABL 計	17,528	47.1%	20,364	48.1%	2,835	16.2%	
人工弁関連	1,755	4.7%	1,742	4.1%	△13	△0.7%	
人工肺関連	113	0.3%	106	0.3%	△7	△6.2%	
人工血管関連	7,229	19.4%	8,469	20.0%	1,240	17.2%	自社製品 ステントグラフト含む
血液浄化関連	1,152	3.1%	1,131	2.7%	△20	△1.8%	
その他	0	0.0%	12	0.0%	12		
外科関連 計	10,251	27.6%	11,464	27.1%	1,212	11.8%	
バルーン	814	2.2%	950	2.2%	136	16.8%	自社製品含む
ガイドワイヤー	373	1.0%	371	0.9%	△1	△0.4%	自社製品
その他	1,596	4.3%	1,899	4.5%	302	19.0%	普通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具、 大腸ステント、子会社販売商品含む
インターベンション 計	2,783	7.5%	3,221	7.6%	438	15.7%	
合計	37,181	100.0%	42,298	100.0%	5,116	13.8%	

JLL Japan Lifeline

連結損益計算書（実績 対前期）

(百万円)	2017/3月期		2018/3月期			
	通期 実績		通期 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	37,181	100.0%	42,298	100.0%	5,116	13.8%
売上原価	15,182	40.8%	15,722	37.2%	539	3.6%
売上総利益	21,998	59.2%	26,576	62.8%	4,577	20.8%
販売管費	14,313	38.5%	15,904	37.6%	1,590	11.1%
営業利益	7,685	20.7%	10,671	25.2%	2,986	38.9%
営業外収益	405	1.1%	259	0.6%	△146	△36.1%
営業外費用	79	0.2%	200	0.5%	120	150.5%
経常利益	8,010	21.5%	10,730	25.4%	2,720	34.0%
特別利益	1	0.0%	1	0.0%	0	△26.7%
特別損失	54	0.1%	116	0.3%	61	113.5%
税引前利益	7,957	21.4%	10,615	25.1%	2,657	33.4%
税金費用	2,607	7.0%	3,137	7.4%	530	20.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,350	14.4%	7,478	17.7%	2,127	39.8%

連結売上高 品目別（実績 対修正予想）

(百万円)	2018/3月期		2018/3月期				備考
	通期 修正予想		通期 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	6,638	15.6%	6,463	15.3%	△175	△2.6%	
ICD関連	606	1.4%	584	1.4%	△22	△3.7%	
その他	184	0.4%	200	0.5%	15	8.3%	AED含む
リズムデバイス 計	7,430	17.5%	7,247	17.1%	△182	△2.5%	
EPカテーテル	15,329	36.1%	15,354	36.3%	24	0.2%	自社製品 心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル	1,159	2.7%	1,161	2.7%	2	0.2%	自社製品
その他	3,868	9.1%	3,848	9.1%	△19	△0.5%	高周波心房中隔穿刺針含む 自社製品含む
EP/ABL 計	20,356	47.9%	20,364	48.1%	7	0.0%	
人工弁関連	1,820	4.3%	1,742	4.1%	△77	△4.3%	
人工肺関連	102	0.2%	106	0.3%	4	4.6%	
人工血管関連	8,432	19.9%	8,469	20.0%	36	0.4%	自社製品 ストントグラフ含む
血液浄化関連	1,135	2.7%	1,131	2.7%	△3	△0.3%	
その他	12	0.0%	12	0.0%	0	0.7%	
外科関連 計	11,503	27.1%	11,464	27.1%	△39	△0.3%	
バルーン	957	2.3%	950	2.2%	△6	△0.7%	自社製品含む
ガイドワイヤー	385	0.9%	371	0.9%	△13	△3.6%	自社製品
その他	1,831	4.3%	1,899	4.5%	67	3.7%	費通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具、 大腸ステント、子会社販売商品含む
インターベンション 計	3,175	7.5%	3,221	7.6%	46	1.5%	
合計	42,466	100.0%	42,298	100.0%	△168	△0.4%	

連結損益計算書（実績 対修正予想）

(百万円)	2018/3月期		2018/3月期			
	通期 修正予想		通期 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	42,466	100.0%	42,298	100.0%	△168	△0.4%
売上原価	15,914	37.5%	15,722	37.2%	△191	△1.2%
売上総利益	26,552	62.5%	26,576	62.8%	23	0.1%
販売管費	15,887	37.4%	15,904	37.6%	16	0.1%
営業利益	10,664	25.1%	10,671	25.2%	7	0.1%
営業外収益	329	0.8%	259	0.6%	△70	△21.4%
営業外費用	85	0.2%	200	0.5%	114	133.1%
経常利益	10,908	25.7%	10,730	25.4%	△177	△1.6%
特別利益	2	0.0%	1	0.0%	△1	△51.8%
特別損失	108	0.3%	116	0.3%	8	7.4%
税引前利益	10,802	25.4%	10,615	25.1%	△186	△1.7%
税金費用	3,322	7.8%	3,137	7.4%	△184	△5.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,480	17.6%	7,478	17.7%	△1	0.0%

JLL Japan Lifeline

連結売上高 品目別（実績 対次期計画）

(百万円)	2018/3月期		2019/3月期				備考
	通期 実績		通期 計画				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	6,463	15.3%	5,739	11.6%	△724	△11.2%	
ICD関連	584	1.4%	680	1.4%	96	16.5%	
その他	200	0.5%	305	0.6%	105	52.7%	AED含む
リズムデバイス 計	7,247	17.1%	6,725	13.6%	△522	△7.2%	
EPカテーテル	15,354	36.3%	17,225	34.9%	1,871	12.2%	自社製品 心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル	1,161	2.7%	1,611	3.3%	449	38.7%	自社製品
その他	3,848	9.1%	4,509	9.1%	660	17.2%	高周波心房中隔穿刺針含む 自社製品含む
EP/ABL 計	20,364	48.1%	23,345	47.2%	2,981	14.6%	
人工弁関連	1,742	4.1%	1,806	3.7%	63	3.7%	
人工肺関連	106	0.3%	58	0.1%	△47	△44.9%	
人工血管関連	8,469	20.0%	8,553	17.3%	83	1.0%	自社製品 ストント含む
血液浄化関連	1,131	2.7%	1,176	2.4%	44	3.9%	
その他	12	0.0%	10	0.0%	△1	△15.0%	
外科関連 計	11,464	27.1%	11,606	23.5%	142	1.2%	
バルーン	950	2.2%	781	1.6%	△169	△17.9%	自社製品含む
ガイドワイヤー	371	0.9%	399	0.8%	27	7.3%	自社製品
その他	1,899	4.5%	6,553	13.3%	4,654	245.1%	貴通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具、 大腸ステント、子会社販売商品含む
インターベンション 計	3,221	7.6%	7,734	15.7%	4,512	140.0%	
合計	42,298	100.0%	49,411	100.0%	7,112	16.8%	

連結損益計算書（実績 対次期計画）

(百万円)	2018/3月期		2019/3月期			
	通期 実績		通期 計画			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	42,298	100.0%	49,411	100.0%	7,112	16.8%
売上原価	15,722	37.2%	19,955	40.4%	4,233	26.9%
売上総利益	26,576	62.8%	29,455	59.6%	2,879	10.8%
販売管費	15,904	37.6%	18,252	36.9%	2,348	14.8%
営業利益	10,671	25.2%	11,202	22.7%	530	5.0%
営業外収益	259	0.6%	323	0.7%	64	24.8%
営業外費用	200	0.5%	43	0.1%	△156	△78.4%
経常利益	10,730	25.4%	11,482	23.2%	751	7.0%
特別利益	1	0.0%	12	0.0%	11	1131.3%
特別損失	116	0.3%	0	0.0%	△116	△100.0%
税引前利益	10,615	25.1%	11,495	23.3%	879	8.3%
税金費用	3,137	7.4%	3,670	7.4%	532	17.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,478	17.7%	7,825	15.8%	347	4.6%

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営戦略部

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:<http://www.jll.co.jp>